

第79期 中間株主通信

2022年4月1日 ▶▶▶ 2022年9月30日



能美防災株式会社

株主の皆様へ



能美防災株式会社

代表取締役社長 **岡村 武士**

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなかで経済社会活動の正常化に向けた動きがみられたものの、ウクライナ情勢の長期化や急速な円安進行の影響などにより、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当防災業界におきましても、民間設備投資は回復傾向にあるものの、部品の供給制約や原材料価格の上昇の影響などに注視が必要な状況が続いております。

このような状況にあります。当社グループは2028年度のありたい姿と、その実現に向けた施策を「中長期ビジョン2028～期待の先をカタチに～」として策定しており、各種の取り組みを2022年度から始め、より高い付加価値を創造できる企業への変革に挑戦しております。

この中長期ビジョンのもと、新型コロナウイルス感染症の感染防止に努めながら事業活動を展開してきた結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は65,103百万円（前年同四半期比2.2%増）、売上高は43,918百万円（前年同四半期比12.2%減）となりました。

利益につきましては、一部の物件で進捗の遅れがみられたことに加え、比較的採算性の高い案件が前連結会計年度に集中していたことなどから、営業利益は490百万円（前年同四半期比89.4%減）、経常利益は684百万円（前年同四半期比86.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は406百万円（前年同四半期比88.0%減）となりました。

業績の内訳をセグメント別にみますと、火災報知設備につきましては、売上高は15,886百万円（前年同四半期比16.3%減）、営業利益は1,130百万円（前年同四半期比72.3%減）、消火設備につきましては、売上高は

14,253百万円（前年同四半期比16.8%減）、営業利益は1,365百万円（前年同四半期比40.1%減）、保守点検等につきましては、売上高は11,509百万円（前年同四半期比0.9%減）、営業利益は1,635百万円（前年同四半期比10.9%減）、その他につきましては、売上高は2,269百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は105百万円（前年同四半期は営業損失36百万円）となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産につきましては、現金及び預金3,080百万円の増加、商品及び製品1,410百万円の増加等があったものの、受取手形、売掛金及び契約資産15,925百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ7,519百万円減少し、141,080百万円となりました。

負債につきましては、未払法人税等2,028百万円の減少、賞与引当金2,020百万円の減少等により、前連結会計年度末に比べ7,300百万円減少し、29,408百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払い等により、前連結会計年度末に比べ218百万円減少し、111,672百万円となりました。

以上のような状況であります。当中間配当金といたしましては1株につき20円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも何とぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

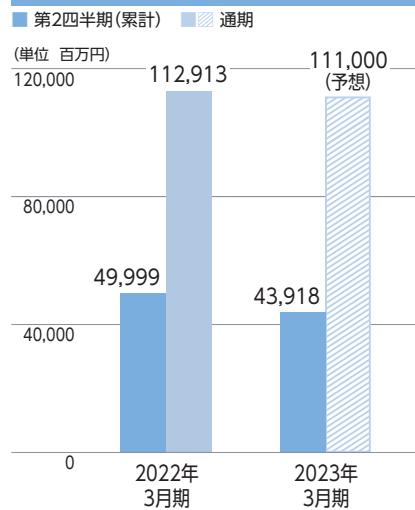
2022年12月

目次

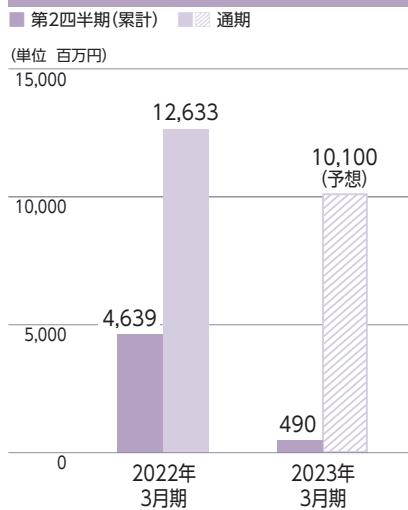
株主の皆様へ	P1
連結財務ハイライト	P3
連結財務諸表	P4
セグメント別の概況	P5
TOPICS	P7
会社の概況	P10
株式の状況	P10
株主メモ	裏表紙

連結財務ハイライト

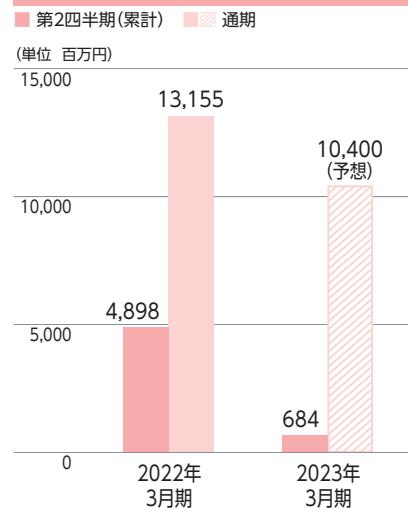
売上高



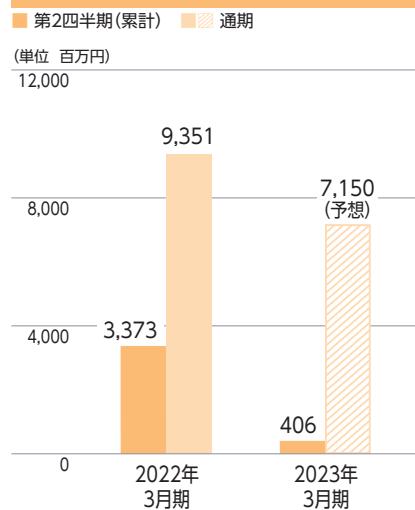
営業利益



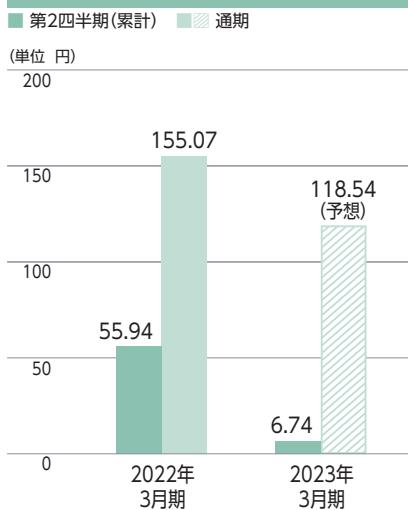
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



1株当たり四半期(当期)純利益



総資産・純資産



連結財務諸表

第2四半期連結貸借対照表（要旨）

（単位 百万円）

科 目	当第2四半期 連結会計期間 (2022年9月30日)	前連結会計年度 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産	98,322	107,225
固定資産	42,758	41,374
（有形固定資産）	23,993	22,900
（無形固定資産）	3,068	2,996
（投資その他の資産）	15,696	15,476
資産合計	141,080	148,599
負債の部		
流動負債	20,308	27,804
固定負債	9,099	8,903
負債合計	29,408	36,708
純資産の部		
株主資本	108,369	109,045
資本金	13,302	13,302
資本剰余金	12,922	12,920
利益剰余金	82,413	83,094
自己株式	△ 268	△ 272
その他の包括利益累計額	1,562	1,205
非支配株主持分	1,740	1,640
純資産合計	111,672	111,891
負債純資産合計	141,080	148,599

第2四半期連結損益計算書（要旨）

（単位 百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)
売上高	43,918	49,999
売上原価	31,226	33,654
売上総利益	12,691	16,345
販売費及び一般管理費	12,201	11,706
営業利益	490	4,639
営業外収益	225	327
営業外費用	30	68
経常利益	684	4,898
特別利益	38	13
特別損失	105	10
税金等調整前四半期純利益	617	4,900
法人税等	284	1,558
四半期純利益	333	3,342
非支配株主に帰属する四半期純損失	73	31
親会社株主に帰属する四半期純利益	406	3,373

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要旨）

（単位 百万円）

科 目	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月 1日 至 2022年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月 1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,522	2,634
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,501	△ 1,581
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,177	△ 1,107
現金及び現金同等物に係る換算差額	162	89
現金及び現金同等物の増減額	3,006	34
現金及び現金同等物の期首残高	47,507	50,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	50,513	50,994

セグメント別の概況

火災報知設備

売上高構成比

36.2%

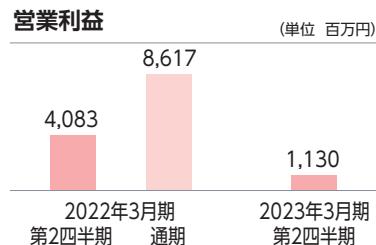
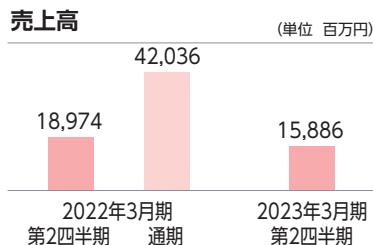


火災報知設備、防火・防排煙設備、ガスもれ警報設備、非常用放送設備、避難誘導設備、住宅防災システム、環境監視システム

売上高 前年同期比
15,886百万円 16.3%減

営業利益 前年同期比
1,130百万円 72.3%減

- 一般ビルやデータセンター向けの防災設備は、需要が堅調に推移し増収、増益となりました。一方、前年同期に特に採算性の高い案件があったことから、セグメント全体の売上高、営業利益ともに前年同期を下回りました。



消火設備

売上高構成比

32.5%

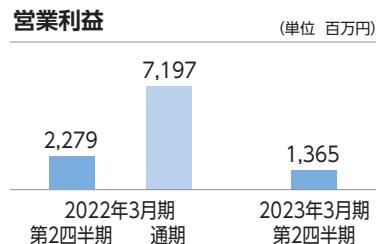


スプリンクラーなど消火設備、文化財防災システム、プラント防災システム、トンネル防災システム

売上高 前年同期比
14,253百万円 16.8%減

営業利益 前年同期比
1,365百万円 40.1%減

- 高層ビル等の一般物件は増収となったものの、プラントやトンネル等の特殊物件は減収となりました。一部の物件で進捗の遅れがみられたことに加え、比較的採算性の高い物件が前年同期に多かったことから、売上高と営業利益は減少しました。



保守点検等

売上高構成比

26.1%

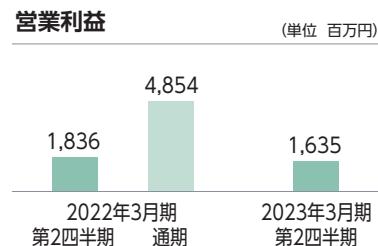
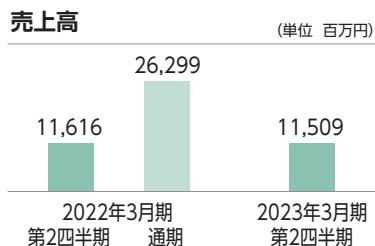


各種防災機器に係る保守点検・補修業務

売上高 前年同期比
11,509百万円 0.9%減

営業利益 前年同期比
1,635百万円 10.9%減

- 保守点検は増収となったものの補修業務の採算性の高い大型物件の進捗遅れがあり、セグメント全体で減益となりました。一方、受注高は前年同期と比較して増加し、高い水準で推移しています。



その他

売上高構成比

5.2%

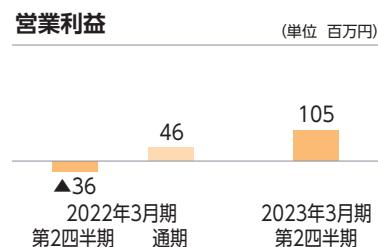
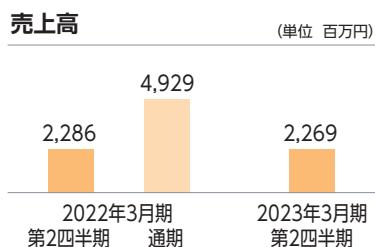


駐車場車路管制システム等

売上高 前年同期比
2,269百万円 0.7%減

営業利益 前年同期は
105百万円 ▲36百万円

- 新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けながらも、駐車場関連が堅調に推移した結果、前年同期と比較してセグメント全体の売上高は同等水準、営業利益は増益となりました。



「東京ミッドタウン八重洲」へ防災システムを納入

「東京ミッドタウン八重洲」は、「東京ミッドタウン(六本木)」、「東京ミッドタウン日比谷」に続く3施設目の東京ミッドタウンブランドです。日本の玄関口である東京駅と地下直結しており、2023年3月にグランドオープンを予定(2022年9月に一部施設先行オープン)しています。

地上45階、地下4階、延床面積は約29万㎡で、39階～45階にはホテル、7階～38階にはオフィスフロア、地下1階～地上3階には商業施設、地下2階には国内最大級のバスターミナルが設けられます。さらに、小学校や子育て支援施設等も設けられた複合用途型の街づくりプロジェクトとなります。

当社は、この「東京ミッドタウン八重洲」に防災システムを納入し、皆様に安全、安心をお届けしています。



提供：三井不動産株式会社

「九段会館テラス (KUDAN-KAIKAN TERRACE)」へ 防災システムを納入

「九段会館テラス (KUDAN-KAIKAN TERRACE)」は、登録有形文化財建造物である旧九段会館を一部保存しながら建て替えを行った施設です。皇居外苑のお濠に面しており、北の丸公園の緑を借景にするテラスとして、また「旧九段会館」を再度“照らす”という意味を込めて命名され、2022年10月に開業しました。

地上17階、地下3階、延床面積は約7万㎡で、創建当時の貴重な技術を活かして保存・復原を行った保存部分と、地上17階建ての最新鋭のオフィスとなる新築部分の新旧が融合した施設となっています。

当社は、この歴史ある新しい「九段会館テラス (KUDAN-KAIKAN TERRACE)」を火災から守るための防災システムを納入しております。



提供：東急不動産株式会社

新「三鷹工場」竣工

東京都三鷹市に当社の新たな「三鷹工場」が竣工し、2022年6月20日から稼働を開始しました。

旧「三鷹工場」は、1944年の会社設立と同時にスタートし、当社の製造を一手に担っていました。1964年にメヌマ工場が建設されてからは、主に特殊・個別生産製品の生産拠点として、現在まで長きにわたり数多くの製品を提供してきました。しかし、建屋の老朽化と生産量の増大により手狭になっていたため、近傍で新たに土地を取得し、新「三鷹工場」を建設しました。延床面積はこれまでの5倍の約1万㎡となっており、製品特性に合わせた生産方式の導入や作業環境改善、動線の最適化などにより、生産性の向上を図っています。

「三鷹工場」では、これからも信頼性の高い防災製品を通じて、皆様に確かな安全をご提供してまいります。



撮影：株式会社ナカサアンドパートナーズ（梅津聡）

会社の概況 (2022年9月30日現在)

会社の概況

商号	能美防災株式会社 NOHMI BOSAI LTD.
設立	1944年5月5日
資本金	13,302,282,161円
従業員数	2,635名(連結) (2022年3月31日現在)

役員体制

1. 取締役および監査役

代表取締役会長	橋爪 毅	社外取締役	石井 一郎
取締役副会長	伊藤 龍典	社外取締役	平野 啓子
代表取締役社長	岡村 武士	常勤監査役	浅倉 義久
取締役	長谷川 雅弘	常勤監査役	近藤 弘
取締役	有賀 靖夫	社外監査役	近藤 和夫
取締役	泉田 達也	社外監査役	高橋 康宏
社外取締役	塩谷 慎	社外監査役	長濱 晶子

2. 執行役員

専務執行役員	長谷川 雅弘	執行役員	上吹越 慎
常務執行役員	有賀 靖夫	執行役員	踊 恵支
常務執行役員	原 祐二	執行役員	加藤 良一
執行役員	三浦 寿人	執行役員	中村 雅之
執行役員	池田 信也	執行役員	小野 泰弘
執行役員	山本 一人	執行役員	内匠 一樹
執行役員	阿閉 久義		

株式の状況 (2022年9月30日現在)

株式の状況

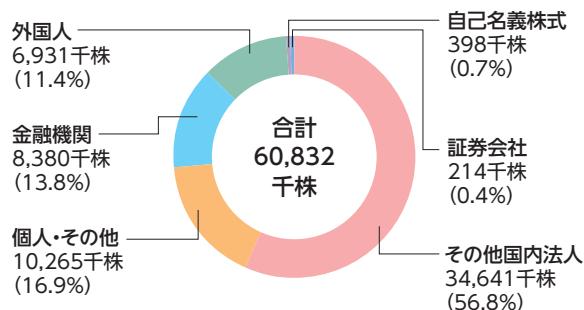
株式数	発行可能株式総数	160,000,000株
	発行済株式の総数	60,832,771株
株主数	4,538名(前期末比 943名増)	

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
セコム株式会社	30,598	50.6
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,365	5.6
能美防災代理店持株会	2,124	3.5
能美防災取引先持株会	1,641	2.7
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,080	1.8
株式会社三菱UFJ銀行	1,000	1.7
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE THE HIGHCLERE INTERNATIONAL INVESTORS SMALLER COMPANIES FUND	946	1.6
能美防災従業員持株会	893	1.5
株式会社三井住友銀行	765	1.3
JP MORGAN CHASE BANK 385632	679	1.1

(注) 持株比率は自己株式(398,468株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
単元株式数	100株
公告の方法	当社のホームページに掲載する。 URL https://www.nohmi.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-782-031 (フリーダイヤル)
(インターネット) (ホームページURL)	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/

【株式に関する各種お手続きについてのお問い合わせ】
お取引の証券会社にお問い合わせください。

ただし、未払配当金の支払請求および証券会社をご利用でない株主様のお手続きにつきましては、株主名簿管理人である三井住友信託銀行の左記電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に証券保管振替機構(ほふり)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である三井住友信託銀行に口座(特別口座といえます。)を開設しております。

特別口座についてのご照会および住所変更等の届出は、左記の電話照会先までご連絡ください。

【単元未満株式の買取・買増制度について】

単元未満株式(1~99株)については、市場での売却ができませんが、当社に対して買取請求または買増請求を行うことができます。いずれも手数料は無料となっております。

これらの請求を行う際はお取引の証券会社に、証券会社をご利用でない株主様は株主名簿管理人である三井住友信託銀行の左記電話照会先までご連絡ください。

能美防災株式会社

〒102-8277

東京都千代田区九段南4丁目7番3号

電話 (03) 3265-0211 (代表)

URL <https://www.nohmi.co.jp/>

